

お知らせ

愛媛大学医学部附属病院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。その中で今回示します以下の研究では、神奈川県立がんセンターより提供を受けたがん患者の血清及び愛媛大学大学院医学系研究科疫学・予防医学講座が主導している「愛大コーホート研究」に参加した地域住民の血清及び情報を使用します。

この研究の内容を詳しく知りたい方や、上記の血清及び情報を利用することをご了解いただけない方は、下記【お問い合わせ先】までご連絡下さい。

【研究課題名】

自己抗体を指標とした早期乳癌診断マーカーの検討

【研究機関】 愛媛大学プロテオサイエンスセンター

【研究責任者】 竹田浩之（愛媛大学プロテオサイエンスセンター・准教授）

【研究分担者】 三宅吉博（愛媛大学大学院医学系研究科 疫学・予防医学講座・教授）

【研究の目的】

乳癌の治療には早期発見が重要です。しかし、早期乳癌は自覚症状が少なく、特に乳腺が発達した乳房での腫瘍発見は、現在検診で広く用いられている触診やマンモグラフィーでは困難です。本研究は乳癌患者さんの血液中で検出される「自己抗体」を指標に用いた新しい診断法を開発することが目的です。乳癌患者さんの血液と、がん罹患歴のない方や他のがんに罹患している方の血液を比較することで、診断法の精度や感度を検証します。この研究の成果により、血液検査による乳癌の診断法ができれば、より確実に乳癌の早期発見、早期治療ができるようになる可能性があります。

【研究の方法】

（対象となる方）神奈川県立がんセンターで診断・治療を受けたがん罹患歴のある女性約 800 名。愛大コーホート研究にご参加いただいた女性約 700 名。
（利用するデータ）性別、年齢、既往歴、身体所見、血液検査データ等
（利用する試料）血清試料（血液）

【共同研究について】

この研究は愛媛大学プロテオサイエンスセンター・プロテオ創薬科学部門、神奈川県立がんセンター臨床研究所、愛媛大学大学院医学系研究科疫学・予防医学講座との共同研究として実施します。

対象となる方のデータは、匿名化されて、CD-R に保存した電子ファイルを郵送することによって愛媛大学プロテオサイエンスセンターに送られます。また、保管している血液試料は試験に用いる量を分注し、追跡の可能な郵送方法で愛媛大学プロテオサイエンスセンターに送られます。解析データは愛媛大学プロテオサイエンスセンター、愛媛大学大学院医学系研究科疫学・予防医学講座、神奈川県立がんセンター臨床研究所で共有します。本研究により、医学・医療の発展に役立つ成果が得られることが期待されます。

【個人情報の取り扱い】

収集した試料・情報は名前、住所など患者さんを直接特定できる情報を除いて匿名化いたします。個人を特定できるような情報が外に漏れることはありません。また、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。

<試料・情報の管理責任者> 竹田浩之（愛媛大学プロテオサイエンスセンター・准教授）

さらに詳しい本研究の内容をお知りになりたい場合は、【お問い合わせ先】までご連絡ください。他の患者さんの個人情報の保護、および、知的財産の保護等に支障がない範囲でお答えいたします。

【お問い合わせ先】

竹田浩之（愛媛大学プロテオサイエンスセンター・准教授）

電話番号：089-927-8285